



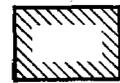
# 第2図 奄美群島国定公園計画

昭和45年5月現在

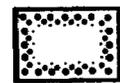
保護計画区



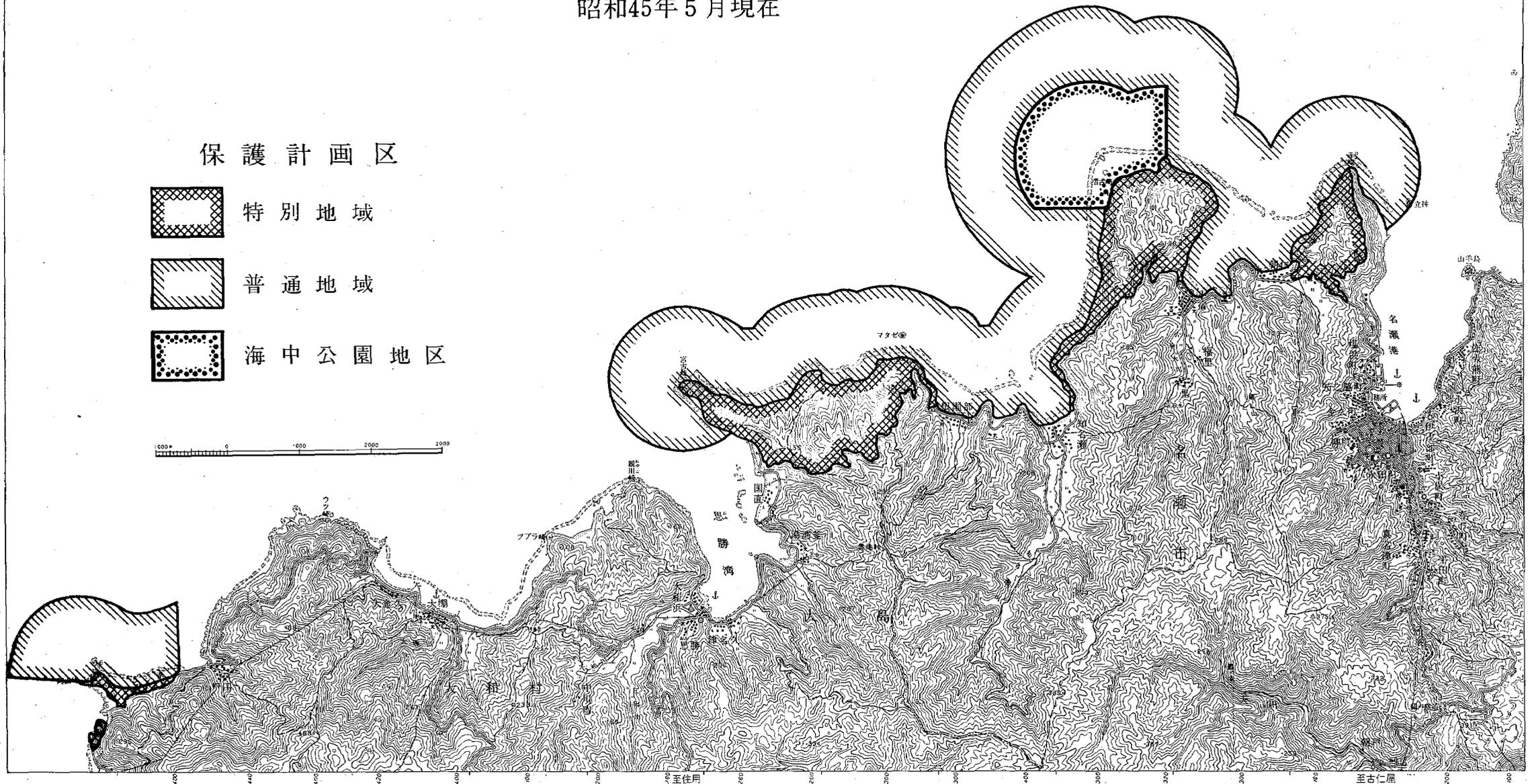
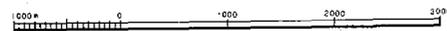
特別地域



普通地域



海中公園地区



# 第3図 現況主要動線

凡 例

- 車道
- - - 歩道
- · - · 歩行可能路



# 第4図 傾斜度

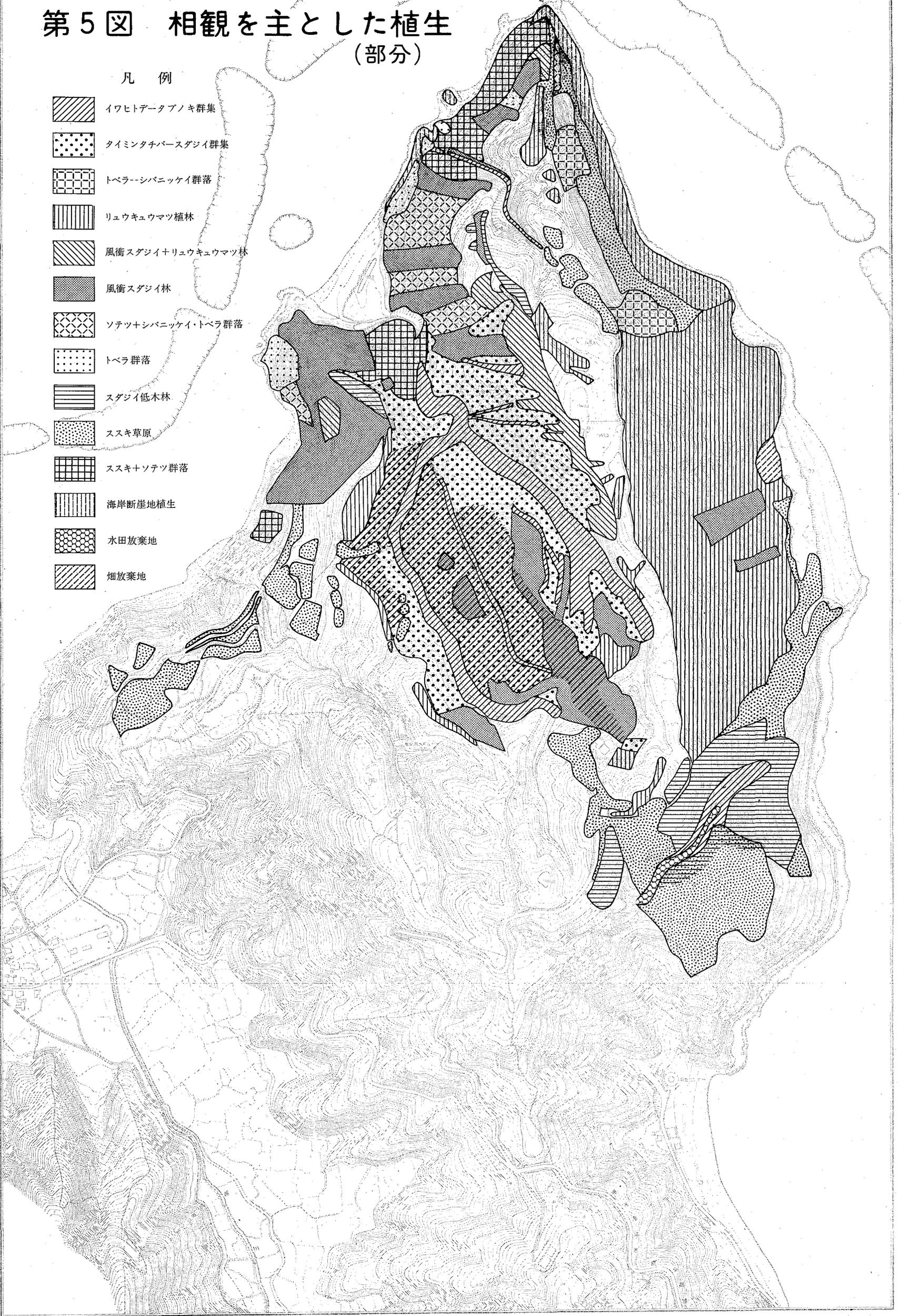
 <math>< 15^\circ</math>



# 第5図 相観を主とした植生 (部分)

凡 例

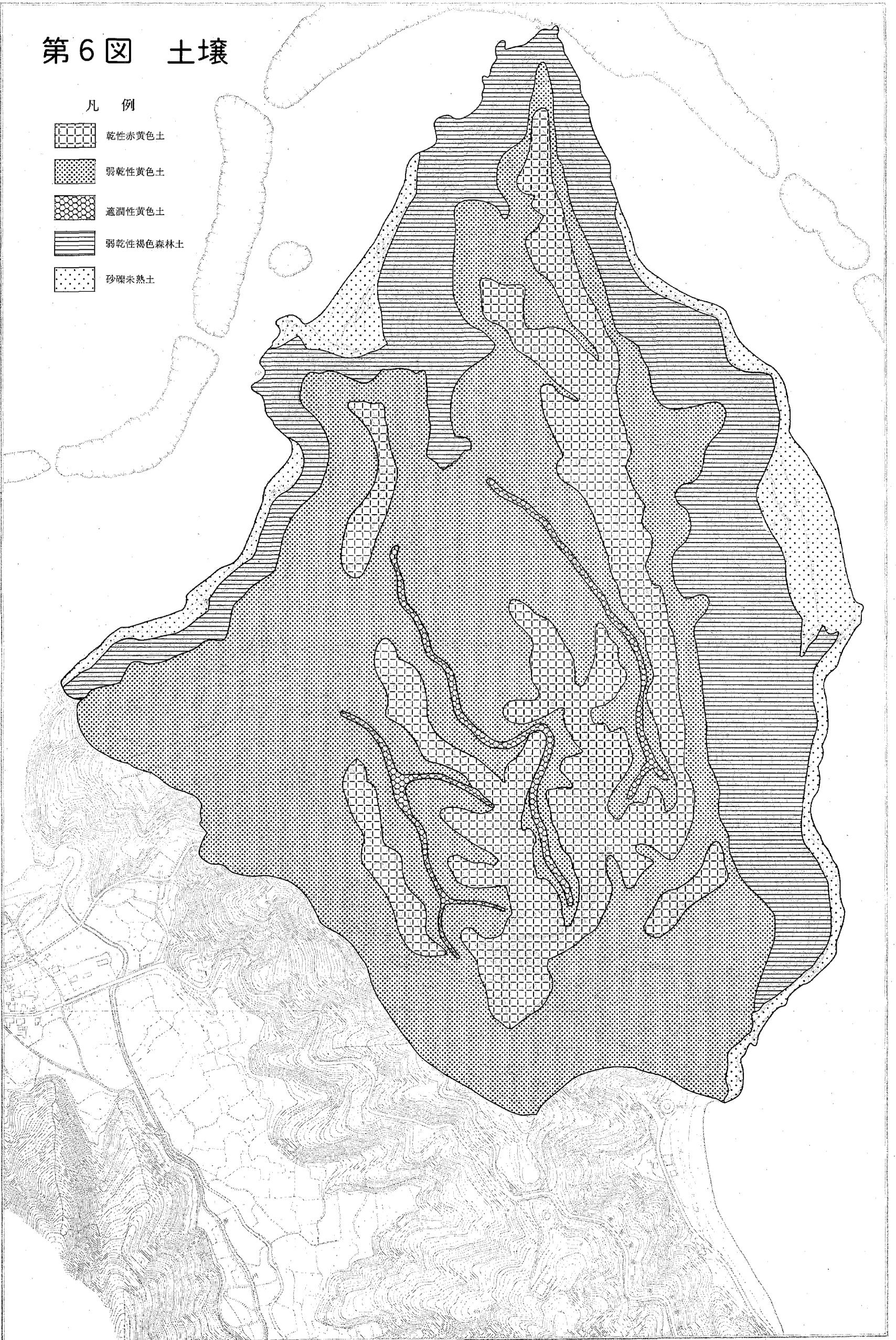
-  イワヒトデ・タブノキ群集
-  タイミンチバースダジイ群集
-  トベラ・シバニッケイ群落
-  リュウキュウマツ植林
-  風衝スダジイ+リュウキュウマツ林
-  風衝スダジイ林
-  ソテツ+シバニッケイ・トベラ群落
-  トベラ群落
-  スダジイ低木林
-  ススキ草原
-  ススキ+ソテツ群落
-  海岸断崖地植生
-  水田放棄地
-  畑放棄地



# 第6圖 土壤

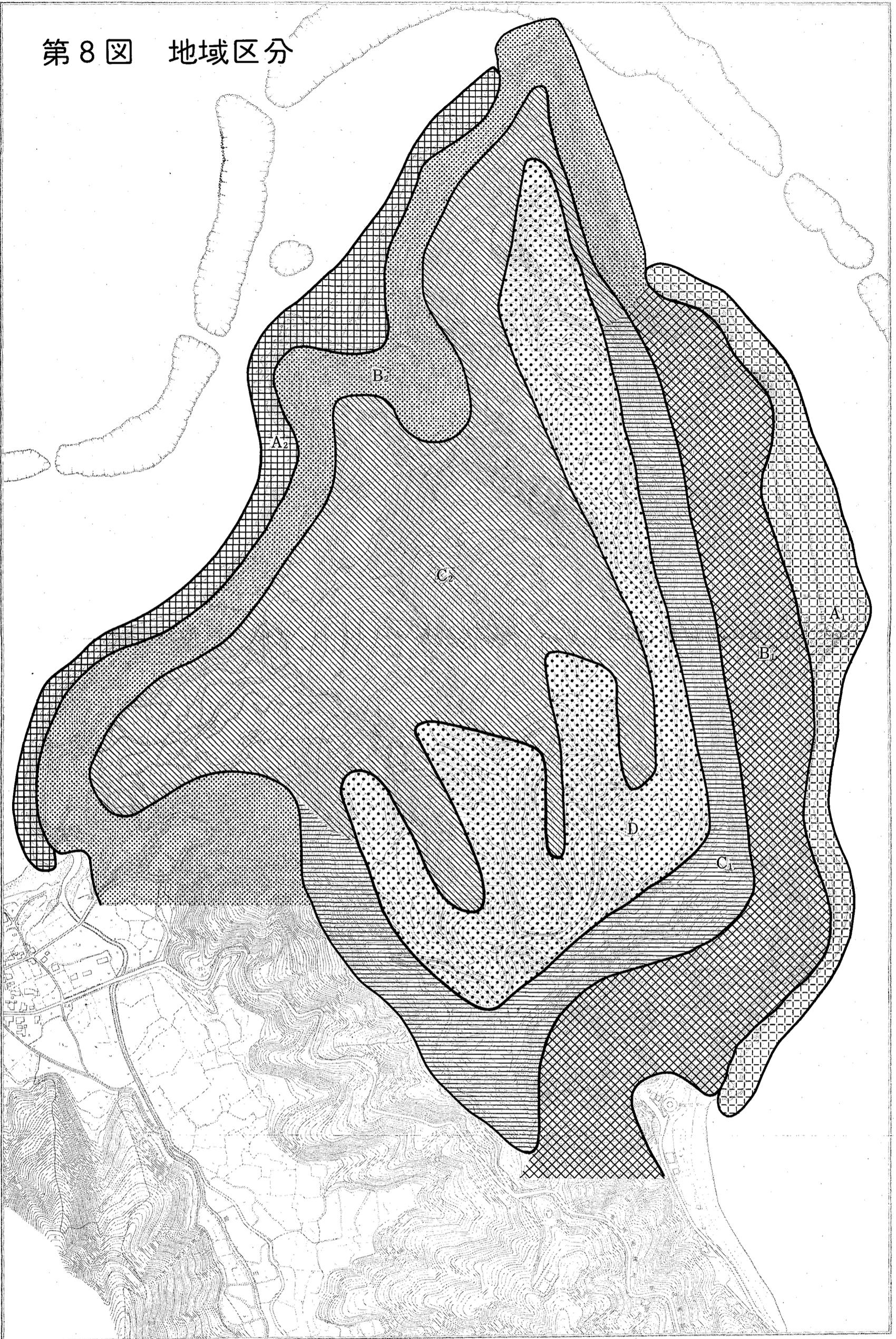
凡 例

-  乾性赤黄色土
-  弱乾性黄色土
-  適潤性黄色土
-  弱乾性褐色森林土
-  砂礫未熟土





# 第8図 地域区分

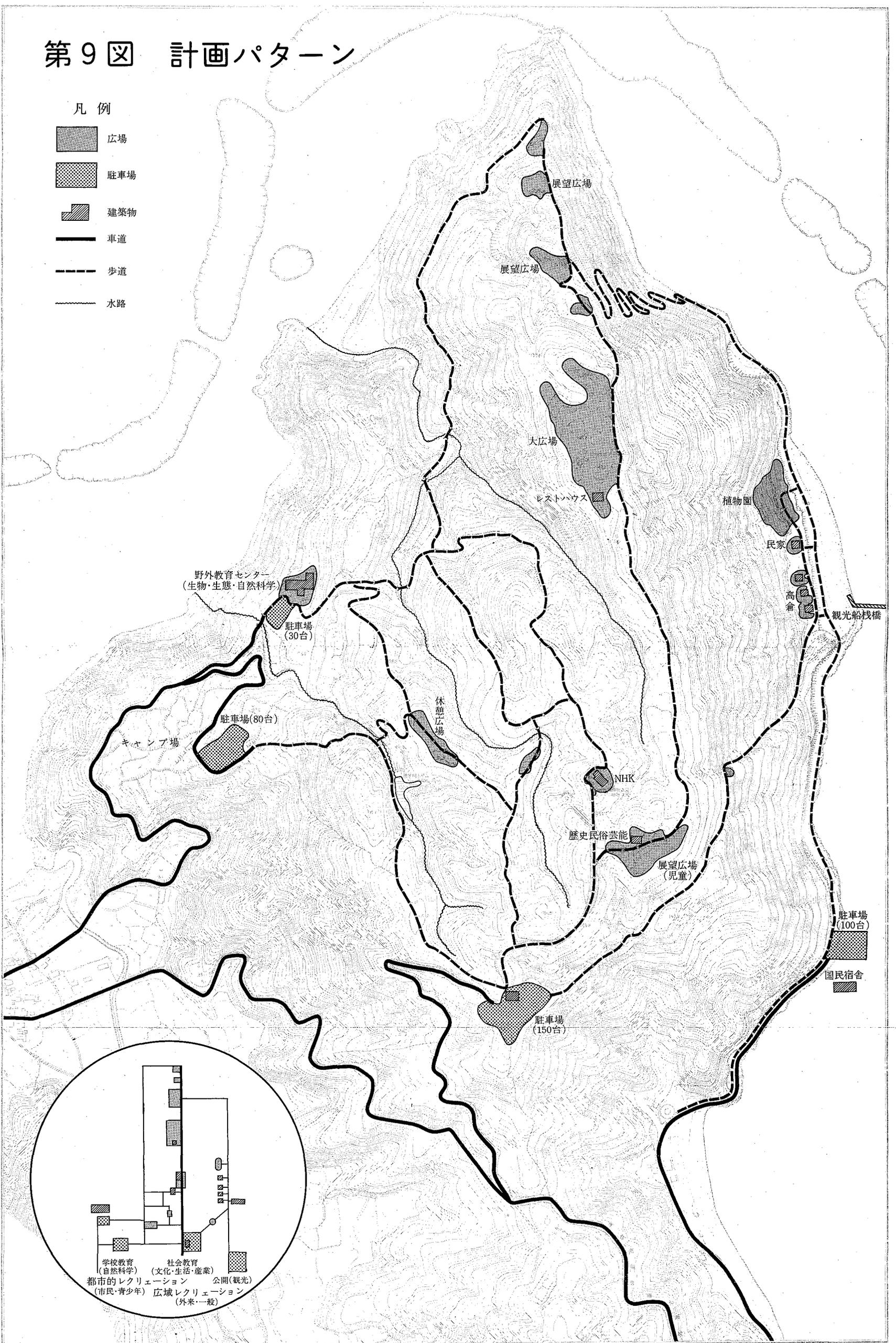


ゾーン	等高線	傾斜度	土 壤	植 生	利 用 形 態			
					建 設 物	レクリエーション利用	植 生 保 護	
A	A <sub>1</sub>	0~10m	<15°	砂礫未熟土	海浜砂丘植生	建築可 道路アプローチ悪し	海水浴 釣	
	A <sub>2</sub>	0~10m	<15°	砂礫未熟土	海浜砂丘植生	建築不可 道路アプローチ悪し	海水浴	自然植生を放置。
B	B <sub>1</sub>	10~100m	30°~50°	弱乾性褐色森林土	海岸断崖植生 トベラシバニッケイ林 風衝スタジイ林	建築不可 道路不可		代償植生を自然植生へ人為的に復元さす。
	B <sub>2</sub>	10~60m	30°~50°	弱乾性褐色森林土	ススキソテツ群落 リュウキュウマツ林	建築不可 道路不可		自然に近い植生は放置。
C	C <sub>1</sub>	100~140m	15°~35°	弱乾性黄色土	イワヒトデタブ群集 タイミンチバナースゲ ジイ群集	建築不可 遊歩道可	スペシャル・レクリエーション・ルート	リュウキュウマツ林を自然植生へ復元さす。
	C <sub>2</sub>	60~140m	15°~35°	弱乾性黄色土 適潤性黄色土	風衝スタジイ林 リュウキュウマツ林	部建築可 遊歩道可	スペシャル・レクリエーション・ルート	自然植生は人為的に保護。代償植生は放置し復元さす。
D	140m~	<15°	乾性赤黄色土	風衝スタジイ林+リュウキュウマツ林, 畑	建築可 車道可	マス レクリエーション・ルート ・広場・展望	広場は代償植生を人為的に維持す。他は自然植生へ復元。	

# 第9図 計画パターン

## 凡例

-  広場
-  駐車場
-  建築物
-  車道
-  歩道
-  水路



学校教育  
(自然科学)

社会教育  
(文化・生活・産業)

都市的レクリエーション  
(市民・青少年)

広域レクリエーション  
(外来・一般)

公開(観光)

# 第10図 保存緑地分級度

保存緑地分級度



# 第11図 名瀬市赤崎公園基本計画

